

大女子自転車強化へ 実業団チーム創設

八戸学院大は22日、女子自転車競技部の選手強化と、卒業後の選手や地元社会人選手の受け皿を目指し、女子の実業団チームを創設することを明らかにした。来年1月に全日本実業団連盟に申請し、同年4月から大会参加など本格的な活動を予定している。

2020年東京五輪、25年青森国体を見据え、選手を育成、強化する。男子の場合は学生連盟と実業団の重複登録が認められていないが、女子は双方への登録が可能。実業団に登録することによって、大学生が実業団の大会に参加できる。同大によると、女子のみ

来月登録申請、4月から活動本格化

受け皿拡大、選手育成

で構成する団体の登録は全国で4例目。青森県では初めて。来春以降、ジュニア世代の有望選手が加入予定で、社会人も加わる。地域で支えるために個人サポーターの募集も検討している。

大谷真樹学長は取材に「地元選手の発掘や育成につながる」とチーム創設の意義を強調。八戸はトラック種目を練習するバンクやロードを練習するコースがあり、環境に恵まれていることを踏まえ、「八戸から世界に羽ばたく人材を応援していただき、地域と夢を共有したい」と述べた。

(林泰輔)